

# 農 林 水 産 部

## 農 林 水 産 総 務 課

### I 農 業 総 務 費

1	農業委員会等運営事業	105,724	94,615	市町村農業委員会及び県農業会議の適正な運営を図るため、農地法・農業委員会等に関する法律で規定された業務の処理と事業の助成及び指導を行った。 ・市町村農業委員会助成 72,485 ・県農業会議助成 22,130
2	6次産業化ネットワーク活動推進事業	12,168	10,222	農林漁業者を主体に、加工業者や流通・販売業者等が参画して行う新商品の開発等を支援した。
3	世界農業遺産推進事業	13,434	12,816	世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」の保全・継承と活用を図るため、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会が取り組む国内外への情報発信、地域リーダーの育成等の取組及び日本農業遺産認定に向けた県内候補地の取組を支援した。

### II 農業協同組合指導費

1	組合検査事業	8,456	8,456	農業協同組合、森林組合、水産業協同組合、農業共済組合の適正な事業運営を図るため、農業協同組合法第94条等関連法令の規定による常例検査を実施した。
---	--------	-------	-------	--

### III 農 地 調 整 費

1	自作農財産管理等特別事業	12,606	8,923	自作農の創設等を目的として国が取得した農林水産省所管国有財産について、旧農地法の規定による売払い等の処分と維持管理を行うとともに、貸付け及び適正管理のための確認調査等を行った。
---	--------------	--------	-------	--

### IV 試 験 場 費

1	農林水産業競争力アップ技術開発事業	55,550	54,117	農林水産関係者などから寄せられた研究テーマを外部評価により選定した33課題の研究を9試験場で実施し、新品種の育成や高品質生産・省力化等の技術開発に取り組んだ。
2	農林水産関係競争的資金試験研究事業	35,949	35,949	農林水産省等の外部機関の競争的（公募型）研究資金を獲得し、19課題の共同研究を8試験場で実施し、高品質生産・省力化技術等の開発に取り組んだ。
3	漁業調査船「きのくに」代船建造事業	8,012	7,560	漁業調査船「きのくに」の代船を建造するため、建造仕様書、一般配置図の作成等を行った。

## 食 品 流 通 課

### I 農 業 振 興 費

1	県産品販路開拓コーディネート事業	24,700	22,218	全国の百貨店や高級スーパー等への販路拡大を目指し、商談会や和歌山フェアを開催するなど生産者・製造者の販路開拓を支援した。また、Yahoo!ショッピングにおいて県のインターネットショッピングサイト「ふるさと和歌山わいわい市場」を展開し、バナー広告等で認知度向上に取り組んだ。
2	わかやま紀州館運営事業	14,967	14,967	東京有楽町にあるアンテナショップ「わかやま紀州館」で首都圏を中心に県産品の魅力を発信するとともに、わかやま紀州館miniの制度を創設し、販路の拡大を行った。
3	国内大型展示会出展事業	33,518	33,488	「FOODEX JAPAN 2019」や「スーパーマーケット・トレードショー2019」等首都圏で開催される大型展示会に県ブースを設置することで、県内生産者・製造者の販路開拓支援を行うとともに国内外のバイヤーに大々的に県産品のPRを行った。
4	和歌山県農水産物・加工食品輸出促進事業	28,270	28,035	県産農水産物・加工食品の海外での販路拡大を目指し、国際食品見本市への出展や、海外の百貨店・高級量販店でのわかやまフェアの開催、海外バイヤー招へいによる商談会の実施などの取組を行う和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会を支援した。
5	わかやまブランド支援事業	413,029	30,233	県産品のブラッシュアップを促進するためサプライヤーが希望する分野の専門アドバイザーの派遣を行うとともに、HACCP導入を検討している事業者向けにセミナーを開催した。
6	高級ブランド新構築事業	15,000	13,134	
7	「おいしい！健康わかやま」定着PR戦略事業	6,898	6,686	イメージキャラクターの起用やマスメディアの活用等により、機能性PRや県産食材の「おいしい！健康わかやま」のイメージ定着を行った。

〔翌年度繰越額〕  
380,275

## 農 業 農 村 整 備 課

### I 農 業 総 務 費

1	中山間地域等直接支払事業	973,014	971,574	中山間地域等における不利な農業生産条件を補正することにより、耕作放棄地の発生防止や、農業・農村の有する多面的機能の増進等、農業生産活動を継続・発展していくための活動を支援した。
---	--------------	---------	---------	--

### II 土 地 改 良 費

1	中山間ふるさと・水と土 保全対策事業	19,448	17,503	中山間地域活性化を図るための基金を造成し、その運用益等により土地改良施設及び農地の多面的機能の維持及び強化に係る調査研究・啓発活動を実施した。
2	国営造成施設管理事業	24,664	24,662	国営十津川紀の川土地改良事業で造成した施設の維持管理費を負担した。
3	国営事業等負担金事業	3,816,459	3,816,449	国営土地改良事業及び森林研究・整備機構事業の負担金（完了地区償還金、直入負担金）を支出した。
4	国営造成施設管理体制整備 促進事業	71,780	71,780	国営事業及び附帯県営事業により造成された農業水利施設管理の多面的機能発揮分に対する土地改良区への支援、管理計画の策定、農業水利施設の役割や多面的機能等に関して地域住民に啓発広報活動を実施した。
5	県営中山間総合整備事業	355,261	115,856	中山間地域の農村の活性化を図るため、生産基盤の整備を総合的に実施した。
			〔 翌年度繰越額 〕	
			239,405	
6	基幹水利施設ストックマ ネジメント事業	218,073	41,995	県営土地改良事業により造成された農業水利施設の長寿命化に向けた取組として、機能保全対策を実施した。
			〔 翌年度繰越額 〕	
			176,078	
7	県単小規模土地改良事業	99,530	87,760	市町村や農業者団体が実施する、国の採択基準に満たない農道整備、かんがい排水、ため池保全、ほ場整備等に対し補助した。
8	県営水利施設等保全高度 化事業	353,100	188,920	用排水施設の操作・管理に係る施設管理者の労力軽減を図るため、施設の省力化対策や遠隔監視設備の設置を実施した。また、農業水利施設の機能保全を図るため、機能診断調査や機能保全計画の作成を実施した。
			〔 翌年度繰越額 〕	
			163,823	
9	多面的機能支払事業	305,615	304,866	農業・農村が持つ国土保全や水源かん養・景観形成など、多面的機能が維持・発揮されるための活動を支援した。
10	県営農業基盤整備促進事 業	70,941	70,941	地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな整備を実施し、担い手への農地集積の加速化、生産効率の向上、農業競争力の強化に向け農業水利施設の整備を行った。
11	団体営農業基盤整備促進 事業	104,873	41,245	地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな農地・農業水利施設等の整備を実施し、担い手への農地集積の加速化、生産効率の向上、農業競争力の強化を図る市町村等に対し補助した。
			〔 翌年度繰越額 〕	
			63,628	
12	団体営農地耕作条件改善 事業	175,875	79,881	耕作条件の改善を図り、農地中間管理機構による担い手の集積・集約化や高収益作物への転換を促進させるための農業基盤の整備を行う市町村等に対し補助した。
			〔 翌年度繰越額 〕	
			95,994	
13	団体営農業水利施設保全 合理化事業	20,500	352	老朽化が進んでいる農業水利施設の機能保全を図るため、機能診断調査や機能保全計画作成を行う市町村に対して補助した。
			〔 翌年度繰越額 〕	
			15,023	

(前年度繰越分)

1	県営中山間総合整備事業	88,002	85,602	中山間地域の農村の活性化を図るため、生産基盤の整備を総合的に実施した。
2	基幹水利施設ストックマネジメント事業	88,497	88,497	県営土地改良事業により造成された農業水利施設の長寿命化に向けた取組として、機能保全対策を実施した。
3	農村総合整備事業	2,080	2,080	活力ある農村地域をつくるため、市町村が実施する生産基盤整備及び生活環境整備事業に対し補助した。
4	団体営中山間地域果樹農業再生基盤整備事業	4,023	4,023	自然的・社会的な諸条件において不利な状況にある中山間地域の果樹園において、優良品種への転換や老木園の若返りに併せて行う条件不利克服のための生産基盤整備に対し補助した。
5	県営農業基盤整備促進事業	317,408	316,361	地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな整備を実施し、担い手への農地集積の加速化、生産効率の向上、農業競争力の強化に向け農業水利施設の整備を行った。
6	団体営農業基盤整備促進事業	13,996	13,746	地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな農地・農業水利施設等の整備を実施し、担い手への農地集積の加速化、生産効率の向上、農業競争力の強化を図る市町村等に対し補助した。

### Ⅲ 農地防災事業費

1	県営ため池等整備事業	1,356,949	795,893	ため池の機能回復と災害の未然防止を図るため、ため池等の整備を実施した。
			〔翌年度繰越額〕	
			561,056	
2	地すべり防止対策事業	129,304	32,657	地すべり地域内の降雨をできる限り地下へ浸透しないように承水路・排水路を整備して速やかに地区外へ排出するなど、地すべりの防止を図る事業を実施した。
			〔翌年度繰越額〕	
			96,647	
3	ため池調査事業	192,606	191,929	災害の未然防止、防災力向上を推進するために、主要なため池の諸元等の把握、対策計画の策定及びハザードマップ作成を支援した。
4	ため池保全体制支援事業	564	272	ため池の水難事故防止及び保全活動の啓発・普及を実施した。
5	中山間総合農地防災事業	58,341	37,842	中山間地域におけるため池及び農業用排水路等を総合的に整備し、災害に強い農村づくりを推進するため、ため池改修を実施した。
			〔翌年度繰越額〕	
			20,499	

(前年度繰越分)

1	県営ため池等整備事業	279,992	269,241	ため池の機能回復と災害の未然防止を図るため、ため池等の整備を実施した。
2	地すべり防止対策事業	390,979	365,582	地すべり地域内の降雨をできる限り地下へ浸透しないように承水路・排水路を整備して速やかに地区外へ排出するなど、地すべりの防止を図る事業を実施した。

3	ため池調査事業	11,187	11,187	災害の未然防止、防災力向上を推進するために、主要なため池の諸元等の把握、対策計画の策定及びハザードマップ作成を支援した。
4	中山間総合農地防災事業	26,749	26,749	中山間地域におけるため池及び農業用排水路等を総合的に整備し、災害に強い農村づくりを推進するため、ため池改修を実施した。

## 果 樹 園 芸 課

### I 農業経営対策費

1	農業活性化支援事業	2,372,816	121,115	農業の活性化を図るため、生産・流通施設の整備及び台風被災施設等の復旧を支援した。
			<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">           翌年度繰越額            1,886,369         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費補助金 119,134</li> <li>・事務費補助金 41</li> <li>・県指導事務費 1,940</li> </ul>

#### [産地パワーアップ事業]

市町村名	事業内容	事業費	補助金
橋本市	選果機のリース導入	113,140	52,379

#### [経営体育成支援事業]

市町村名	事業内容	事業費	補助金
和歌山市	農業用機械の整備	4,000	1,111
海南市	(梅雨期) 農業用施設の修繕	275	136
紀美野町 外9市町	(台風21号) 農業用施設の再建・撤去・修繕、農業用機械の再取得	160,836	63,105
串本町	(台風24号) 農業用施設の再建・撤去・修繕	8,656	2,403
計		173,767	66,755

2	グリーンツーリズム推進事業	5,672	4,152	農山村での観光客の受け入れを通じ農林業者の所得向上を図るため、地域の農林資源を活用した体験・交流施設の整備や地域による情報発信活動などを総合的に支援した。
---	---------------	-------	-------	---

事業主体	事業内容	事業費	補助金
田辺市	交流施設整備	5,430	1,810
新宮市	交流施設整備	2,590	863
広川町	農家民泊整備	1,507	500

(前年度繰越分)

1 農業活性化支援事業 2,475 1,598

農業の活性化を図るため、改植による老木園の若返りを支援した。

[産地パワーアップ事業]

- ・事業主体 ブランドありだ果樹産地協議会、事業内容 同一品種の改植
- ・事業費補助金 1,598

## II 農業振興費

1 わかやま食育推進総合対策事業 5,823 4,637

県食育推進計画に基づき、総合的かつ計画的な食育の推進を行った。また、県産農産物を活用した食育・地産地消の推進と地域における食育実践活動への支援を行った。

[県食育推進会議の運営、普及啓発]

- ・食育の推進を県民運動として展開するため、食育推進体制の整備、食育啓発事業の実施及び食育ボランティアの活動体制の整備等を行った。

[和歌山版「食事バランスガイド」の普及・活用]

- ・県産農産物や郷土料理を活用した和歌山版「食事バランスガイド」を普及・活用することにより、県民のバランスのとれた食生活の実現、地産地消、地域食文化への理解促進を図った。

[食育実践地域活動支援事業]

- ・地域の特性を活かした食育実践活動への支援を行った。

事業主体	事業内容	事業費	補助金
一般社団法人和歌山県調理師会	出前授業	420	200
J Aながみね	生産者と消費者の交流活動	358	129
和歌山県漁協女性部連合会	出前授業	318	125
和歌山県漁業士連絡協議会	出前授業	102	50
J A紀の里	出前授業 農林水産業体験イベントの開催	956	478
伊都地方農業振興協議会	出前授業	155	77
有田川町	出前授業	138	68
J Aありだ	生産者と消費者の交流活動	430	162
御坊市	出前授業	272	136
上富田町農業振興協議会	出前授業 農林水産業体験イベントの開催	303	140
産直カフェエフノカッテ経営者会	生産者と消費者との交流活動	110	30
J Aみくまの	生産者と消費者との交流活動	191	88
新宮周辺地場産青果物対策協議会	出前授業	192	96

2 野菜花き産地総合支援事業

1,075,509

197,488  
 翌年度繰越額  
 600,219

事業主体	事業内容	事業費	補助金
計		3,945	1,779

野菜花き産地の拡大や活性化を図るため、省エネ、高品質化、低コスト化などに必要な設備導入、消費拡大活動の総合的な支援及び台風被災施設等の復旧を支援した。

事業主体	事業内容	事業費	補助金
西部アグリ	パイプハウスの高度化（耐風性）、循環送風機、遮光（遮熱）ネット	83,062	19,488
ニューリーフ	パイプハウスの高度化（耐風性）、循環送風機、多重カーテン、収穫機、定植機、袋詰機	78,374	19,160
フューチャー研究会	パイプハウスの高度化（耐風性）	6,264	699
紀の里農業協同組合生産販売委員会	パイプハウスの高度化（耐風性）、多重カーテン、多段サーモ、炭酸ガス発生装置、収穫機、定植機、播種機、肥料散布機	15,930	2,889
紀ノ川農協青年部会	ミスト装置	1,125	183
岩出野菜生産組合	定植機、成型機	1,040	170
農友会 PLOW	パイプハウスの高度化（耐風性）、多重カーテン、ヒートポンプ	22,748	3,027
高野口いちご研究会	高設栽培装置、炭酸ガス発生装置、紫外線照射装置	4,227	868
ありだ農業協同組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、循環送風機、養液栽培装置	3,098	389
農芸匠の会	循環送風機、遮光（遮熱ネット）、ミスト装置	736	119
紀州農業協同組合	冷蔵機、推進事業（母の日参りプロジェクト）	11,915	4,124
ごぼう営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、多重カーテン、ミスト装置、自動灌水装置、遮光（遮熱）ネット、定植機、施肥機、成型機	35,073	9,160
御坊南部営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）	44,509	13,727

事業主体	事業内容	事業費	補助金
名田営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、循環送風機、多重カーテン、放熱フィン、炭酸ガス発生装置、紫外線照射装置、成型機、重量選別機	32,713	10,088
名田中央営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、高設栽培装置、自動換気装置	39,851	12,295
紀州の花生産協同組合	遮光（遮熱）ネット	426	131
有限会社井ノ上精花園	パイプハウスの高度化（耐風性）、成型機	1,695	522
ひだか営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、パイプハウスの高度化（耐暑性）、循環送風機、多段サーモ、ヒートポンプ、遮光（遮熱ネット）、ミスト装置、炭酸ガス発生装置、自動換気装置、育苗施設、定植機、成型機、肥料散布機、重量選別機、保冷库	43,363	12,055
日高夢農場	自動換気装置	681	210
いなみ営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、パイプハウスの高度化（耐暑性）、循環送風機、自動換気装置、炭酸ガス発生装置、遮光（遮熱）ネット	37,785	11,594
イナミ営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、循環送風機、多重カーテン	65,392	20,176
i n a m i 営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、炭酸ガス発生装置	26,557	8,003
みなべ営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、パイプハウスの高度化（耐暑性）、循環送風機、多重カーテン、多段サーモ、遮光（遮熱）ネット、自	18,281	5,635



事業主体	事業内容	事業費	補助金
	動換気装置		
南部営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）	46,558	14,198
ひだかがわ営農組合	パイプハウスの高度化（耐風性）、循環送風機、多重カーテン、高設栽培装置、自動換気装置、自動灌水装置、炭酸ガス発生装置、ミスト装置、定植機、成型機	55,801	14,223
紀南農業協同組合	循環送風機、多重カーテン、遮光（遮熱）ネット、高設栽培装置、包装機	11,334	1,849
那智勝浦町	パイプハウスの高度化（耐風性）、高設栽培装置	14,472	4,446
J Aグループ和歌山農業振興センター	推進事業（研修会の実施）	5,573	2,500
和歌山県いちご生産組合連合会	推進事業（新商品開発）	691	299
和田施設組合	台風の復旧対策（農機具格納庫等）	7,093	2,188
紀州農業協同組合	台風の復旧対策（育苗施設）	9,958	3,073
計		726,325	197,488

3 果樹産地競争力強化総合  
支援事業

274,076

71,185

（翌年度繰越額）  
175,354

果樹産地ごとの課題に応じた生産対策を総合的に支援した。

事業主体	事業内容	事業費	補助金
J Aわかやま	推進事業（みかんの新商品開発及び販路開拓）	411	190
J Aながみね	チャレンジ支援、マルチ、かん水施設、改植、園内道、予冷庫の整備 625 a	15,755	4,904
農事組合法人シトラスファーム俊菓	腐敗センサー付き選果機の整備	9,576	2,956
J A紀の里	防風ネット、園内道、冷蔵設備の整備、推進事業（かき対米輸出実証ほの設置） 378 a	20,642	6,378

事業主体	事業内容	事業費	補助金
J A紀北かわかみ	チャレンジ支援、かん水施設、改植、防風ネット、保冷库、園内道等の整備、廃園、推進事業（対米・対豪輸出実証ほの設置） 834 a	28,685	9,621
伊都地方3市町農産物消費拡大協議会	推進事業（国内外へのかき新商品開発及びPR）	1,094	532
J Aありだ	チャレンジ支援、改植、マルチ、園内道、循環送風機の整備、推進事業（機能性表示市場説明会の開催） 1,611 a	11,534	3,760
A Q中央選果場柑橘部会	改植、マルチ、循環送風機、園内道等の整備 773 a	6,122	1,997
A Q総合選果場柑橘部会	改植、マルチ、園内道等の整備 245 a	3,894	1,354
A Qマル南選果場柑橘部会	改植、マルチ、循環送風機の導入 328 a	3,186	995
有田市農業研究会	チャレンジ支援、マルチ、スプリングラーの整備 331 a	6,029	1,861
J A紀州	保水対策、かん水施設、園内道、選果プールラインの整備 317 a	47,261	14,587
みなべ梅対策協議会	推進事業（うめ機能性の調査研究、PR）	5,272	2,636
日高川果樹協議会	傾斜の緩和 6 a	1,264	390
由良町果樹対策協議会	マルチの導入 69 a	795	245
日高川町若い農業者部会	推進事業（みかん機能性PR）	1,194	553
J A紀南	チャレンジ支援、改植、マルチ、かん水施設、保水対策 5,575 a	32,310	9,986
紀州田辺うめ振興協議会	推進事業（うめ機能性の調査研究、PR）	8,990	4,492
県かんきつ生産振興部会	推進事業（きゅうきの貯蔵向け新出荷基準検討）	248	115
県農業協同組合連合会	推進事業（厳選みかん表示拡大、海外市場におけるブランド化）	7,473	3,633
計		11,092 a	71,185

4 みかん厳選出荷促進事業

21,000

13,556

温州みかんの市場評価を高めるため、J Aグループが実施する厳選出荷の取組を支援した。

5	学校給食での和歌山産品 利用推進事業	12,135	11,942	学校給食等での地場産農水産物の利用拡大を図るため、県内小学校等での給食や学習活動にうめ、もも、かき、みかんを提供した。 〔学校給食等への県産農水産物の提供〕 ・学校給食への提供 みかん 実施期間 平成30年11月 実施校数 379校 ・学習活動の教材として提供 うめ 実施期間 平成30年6月 実施校数 251校 もも 実施期間 平成30年7月 実施校数 252校 かき 実施期間 平成30年10月 実施校数 250校
---	-----------------------	--------	--------	--

### Ⅲ 農作物対策費

1	生産調整推進対策事業	42,275	40,875	経営所得安定対策を推進するとともに、生産数量参考値に基づく米の需給均衡、適正な流通に努めた。 ・平成30年産生産数量参考値 34,108 t (面積換算6,894 h a) ・平成30年産作付確定面積 6,430 h a ・市町村補助金 39,184 ・県協議会補助金 1,298
---	------------	--------	--------	--

### Ⅳ 土壌肥料対策費

1	エコ農業推進モデル事業	6,231	5,308	土づくりを基本とした化学肥料、化学農薬に過度に頼らない環境に優しいエコ農業を推進するとともに、有機、特別栽培認証制度を活用したエコ農産物の高付加価値化と消費拡大を推進した。 ・エコ農業推進モデル園の設置 (県内7箇所) ・環境保全型農業直接支払事業の実施
---	-------------	-------	-------	---

市町村名	取組面積 (a)	申請件数(件)	補助金	備考
海南市	709	3	363	有機農業、草生栽培
紀の川市	620	3	372	有機農業
岩出市	276	1	166	有機農業
橋本市	18	1	11	有機農業
かつらぎ町	816	2	484	有機農業、草生栽培
有田市	259	1	155	有機農業
有田川町	580	1	348	有機農業

市町村名	取組面積 (a)	申請件数(件)	補助金	備考
みなべ町	2,140	4	931	有機農業、草生栽培、性フェロモン剤導入
田辺市	1,836	3	1,084	有機農業、草生栽培性フェロモン剤導入
白浜町	133	1	80	有機農業
上富田町	180	2	108	有機農業性フェロモン剤導入
計	7,567	22	4,102	

## V 植物防疫費

1 農作物病害虫対策事業 8,691 7,716

県内農作物の病害虫の発生状況をほ場での調査を通じて迅速・的確に把握し、発生予察を実施するとともに、予察情報の迅速な提供、病害虫の防除技術の導入指導等により農作物の被害防止に努めた。

情報の種類	回数	備考
発生予察情報	22回	予報8回(月1回4月～11月) 注意報8回、その他6回
ホームページ	随時	病害虫の発生情報の提供

2 わかやま農産物安心プラス事業 13,431 10,839

農薬残留の検査を二段階(収穫前と出荷段階)で実施するとともに、基準超過時の対応マニュアルの整備等に取り組んだ生産者団体等を、審査会での審査結果を受けて認証した。

- ・認定団体数 14団体
- ・認証品目 32品目(果樹11品目、野菜20品目、米)

[出荷段階残留農薬検査の実施]

事業主体	検体数	事業費	補助金	備考
J Aわかやま	31	1,222	566	しょうが、キャベツ、だいこん等
J Aながみね	18	710	328	温州みかん、かき等
J A紀の里	63	2,484	1,150	かき、もも等
J A紀北かわかみ	56	2,208	1,022	かき、温州みかん、もも等
J Aありだ共選協議会	69	2,720	1,259	温州みかん等
J A紀州	112	4,387	2,005	うめ、温州みかん、ミニトマト等

事業主体	検体数	事業費	補助金	備考
J A紀南	74	2,398	1,110	うめ、温州みかん
J Aみくまの	3	118	55	ほうれんそう、いちご、たかな
県農業協同組合連合会	24	946	438	米
北山村じゃばら生産組合	17	680	340	じゃばら
ありだフルーツ農家直送の会	1	81	37	温州みかん
てらがき農園	1	59	28	うめ
大内茂樹	1	39	19	米
計	470	18,052	8,357	

3 農作物鳥獣害防止総合対策事業

394,799

348,417

野生鳥獣による農作物被害を減少させるため、捕獲を強化するとともに、防護、人材育成などを総合的に推進するために事業を実施した。

○捕獲

[有害鳥獣捕獲]

- ・捕獲数 イノシシ 12,339、シカ 10,219、サル 1,006、その他獣類 1,391  
鳥類 490 計25,445頭・羽
- ・補助金 215,243

[シカ管理捕獲]

- ・捕獲数 1,200頭、委託費 14,325

[サル管理捕獲]

- ・捕獲数 140頭、委託費 840

[免許取得助成]

- ・わな免許 155人 銃免許 28人、補助金 2,569

[狩猟前訓練支援]

- ・訓練者数 1,355人、補助金 4,477

[指定管理鳥獣捕獲等事業(夜間銃猟)]

- ・捕獲数 54頭、委託費 7,776

○防護

[防護柵設置支援]

- ・事業費 80,629、補助金 26,119、延長距離130 k m、19市町

[鳥獣被害防止総合対策事業(国庫)]

- ・防護柵設置 事業費 25,325、補助金 25,325、延長距離18 k m、3市・協議会

○環境整備

[農作物鳥獣害対策アドバイザーの育成]

- ・研修会 5回、認定者数 15人（現認定者数 150人）

[鳥獣被害防止総合対策事業(国庫)]

- ・推進事業 事業費 26,257、補助金 22,389、15協議会

## 畜 産 課

### I 畜産振興費

1 畜産経営指導事業 5,034 4,972

[畜産経営指導]

畜産農家、特に後継者の育成と経営の安定を図るため、経営診断指導を実施するとともに、畜産関係情報のデータベース化及び提供等を行った。

診 断 事 業 名	酪 農	肉用牛	養 豚	採 卵	ブロイター	計(件)
経 営 改 善 指 導	5	28	0	0	—	33
高 度 化 支 援 指 導	5	2	1	2	1	11
計	10	30	1	2	1	44

[肉用牛改良増殖推進]

肉用牛経営の安定化を図るため、熊野牛個体情報の収集・分析を行い、産肉能力の育種価等の情報を生産者に提供した。

- ・委託事業者名：(公社) 畜産協会わかやま
- ・委託料 1,213

2 活かそう、つなごう！わかやまジビエ事業 8,861 7,864

農作物の獣害対策として捕獲されるイノシシ、シカを食肉として地域資源等に活かせるよう食肉流通等を推進した。また、より安全で安心な「わかやまジビエ」を提供するため「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証制度」及び「わかやまジビエ肉質等級制度」の普及推進を図った。

3 家畜堆肥利用体制構築事業 2,058 1,952

県内産家畜堆肥の有効活用を図るため、耕種農家と畜産農家のマッチング、畜産・耕種農家に対する情報収集体制の整備、畜産農家への堆肥生産技術指導、堆肥散布実証展示会を開催し、家畜堆肥の流通円滑化に努めた。

4 畜産振興総合事業 50,125 6,570

〔翌年度繰越額〕  
23,182

和歌山県ブランドの「うめどり・うめたまご」の普及推進を図るとともにみつばちの分布の適正化、みつ源増殖の推進等養鶏・養蜂の振興を推進した。

新規畜産就農希望者に対する相談窓口を設置し、新規就農者の確保を図るとともに、新規畜産就農者が畜産経営を開始するのに適している特用家畜の普及定着化を推進した。

[畜産生産基盤育成強化の取組]

- ・新規畜産就農希望者等に対する相談、指導
- [特用家畜振興推進事業]
- ・特用畜産物の普及啓発活動の実施
  - ・特用家畜の各種調査指導の実施

## II 家畜保健衛生費

- 1 家畜伝染病予防事業、家畜診療及び人工授精事業 37,348 35,329

家畜保健衛生所において、下記のとおり予防注射・検査及び診療・人工授精等を実施し、畜産経営の安定と生産性の向上及び畜産物の安全性の確保に努めた。

事業名	実施頭羽(件)数	事業名	実施頭羽(件)数
伝染性海綿状脳症(牛)検査	36頭	豚伝染性疾病立入検査	24,026頭
鶏伝染性疾病立入検査	216,353羽	牛白血病検査	542頭
オーエスキー病検査	100頭	豚丹毒予防注射	1,260頭
ニューカッスル病検査	1,243羽	豚流行性脳炎予防注射	123頭
家禽サルモネラ感染症検査	1,062羽	アバネイノチヨウノ3種混合予防注射	1,039頭
高病原性鳥インフルエンザ検査	2,715羽	牛5種混合予防注射	624頭
腐蛆病検査	5,097群	検診検査	1,390頭
牛伝染性疾病立入検査	21,296頭	人工授精	823件

- 2 家畜衛生技術指導事業 10,552 10,552

安全・安心な畜産物の生産を推進するため、生産から消費段階までの一貫した家畜衛生対策を実施するとともに、県内畜産業の安定的な生産を推進するため、生産性向上対策及び家畜疾病低減対策等を実施した。

## 経営支援課

### I 農業総務費

- 1 農業経営基盤強化促進対策事業 7,768 5,725
- 2 農地流動化支援事業 55,678 43,027
- 3 農業経営発展サポート事業 10,600 9,016

効率的で安定的な農業経営者の育成を図ることを目的として、担い手育成総合支援協議会を核に認定農業者制度の推進等を行った。

担い手への農地集積と流動化により、優良農地の維持確保と農業の生産性の向上を図るため県に基金の造成を行うとともに、造成した基金等を活用して(公財)和歌山県農業公社(農地中間管理機構)が行う事業等に対し助成を行った。

- ・(公財)和歌山県農業公社助成 34,762
- ・基金造成額 153

地域をけん引する強い経営体を育成するため、セミナー及びわかやま農業MBA塾の開

業

**II 農業改良普及費**

1	農業担い手対策事業	277,392	251,204
2	地域農業再編普及活動事業	13,434	12,909
3	就農支援センター運営事業	18,790	17,526
4	就農支援センター社会人課程事業	1,924	1,924

催、専門家派遣等による総合的な支援を実施した。

青年農業者の育成やIターンなど幅広く農業の担い手を育成・確保するため、就農相談活動の実施、就農支援会議等を開催した。  
また、市町村に対して地域農業のマスタープランとなる「人・農地プラン」の作成支援を行うとともに、就農研修期間及び就農初期段階の青年就農者の所得安定を図るため、農業次世代人材投資資金を交付した。

- ・人・農地プランの作成・更新 12市町 36プラン
- ・農業次世代人材投資資金の交付 218人 246,620

効率的かつ安定的な農業経営体を育成するため、技術実証ほの設置運営・農業者の意向に即した経営指導、遊休農地解消の推進、新規就農者、青年農業者のスキルアップ研修の開催等の普及活動を実施した。

新規就農希望者に対する就農相談や就農に必要な各種研修の体系的実施及び就農希望地における円滑な就農と定着に向けたサポートを行った。

- ・相談延べ件数 200件
- ・農業体験研修受講者数 237人
- ・技術修得研修受講者数 18人

就農を希望する社会人を対象に9箇月間農業経営に必要な知識や技術習得のための実践的な訓練を実施した。

**III 農業協同組合指導費**

1	農協運営指導事業	1,480	1,269
---	----------	-------	-------

農協事業運営の一層の高度化・効率化を図るため、農協のコンプライアンス態勢や信用事業の強化に対する調査指導を行った。

**IV 農業金融対策費**

1	農業近代化資金等運営管理事業	26,252	24,079
2	生活営農資金等融資・管	1,788	1,611

農業経営の近代化を図る農業者等に貸し付けた農業近代化資金等の利子補給を実施した。  
〔農業近代化資金〕

- ・平成30年12月31日現在融資残高 1,894,131
- ・本年度承認額 82,400
- ・本年度利子補給補助金 20,083

農業者の経営安定と生活環境の整備等を目的とする長期低利資金の利子補給を実施した。



理事業

・平成30年12月31日現在融資残高 347,510  
・本年度利子補給補助金 1,611

## V 農業共済団体指導費

1 農業共済指導事業	513	473	農業共済組合が行う共済事業を本県農業のセーフティネットとして機能させるため、農業共済組合の運営、業務について指導監督を実施した。
------------	-----	-----	--

## VI 農林大学校費

1 養成事業	19,594	18,000	次代の農業・農村の担い手にふさわしい広い視野と専門知識、技術、経営能力及び組織活動、能力を持った優れた人材を養成した。
2 研修事業	1,118	989	農村の青少年や農業者への研修及びIターン・Uターンを含む就農希望者に対する基礎的な研修等、担い手を育成するための体系的かつ継続的な短期研修教育を行った。
3 社会人課程事業	1,605	1,568	就農を希望する社会人を対象に9箇月間農業経営に必要な知識や技術を習得するための実践的な訓練を実施した。

## 林業振興課

### I 林業総務費

1 紀の国森林管理推進事業	20,426	19,709	地域森林計画の樹立・変更及びその実行管理のため、森林現況調査、森林地理情報管理システム（森林GIS）及び森林情報精度向上支援ソフトの保守・機能改修並びに森林情報整備を行った。また、市町村が林地台帳を効率的に管理・活用するための森林GISのシステム整備に対し支援した。
2 林業普及指導事業	5,970	5,201	林業普及指導職員（36人）を配置し、森林・林業施策の円滑な実施、地域リーダーの育成及び林業技術・知識の普及等を図るため、森林所有者等への普及指導活動を行った。また、普及指導職員の資質・知識の向上のため、研修会を行った。
3 林業担い手社会保障制度等充実対策事業	21,518	19,926	林業従事者の社会保障の充実のため、以下の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"><li>・林業退職金制度加入促進事業</li><li>・林業社会保険制度加入促進事業</li><li>・林業労働者任意災害補償保険助成事業</li></ul>
4 低コスト林業基盤整備サポート事業	76,357	76,319	搬出間伐の推進を図るため、作業道整備及び高性能林業機械レンタル経費を一体的に支援した。
5 農林大学校林業研修部事	23,087	20,728	新規就業希望者を実践的な技術と知識を持った即戦力となる技術者に育成するとともに

業

**II 林業振興費**

1	森林整備地域活動支援交付金事業	18,002	17,917
2	紀州材需要拡大対策支援事業	226,938	166,606
			〔翌年度繰越額〕 47,401
3	紀州材販路拡大支援事業	15,372	13,548
4	東京五輪2020・紀州材ブランドPR事業	6,224	5,107

既従事者のスキルアップを図った。

森林の多面的機能を一層高度に発揮させるため、森林所有者等が行う計画的かつ適正な森林施業の実施に不可欠な地域活動に対し支援した。また、令和元年度から始まる新たな森林管理システムの運用準備のため、市町村が行う意向調査の事前準備に対し支援した。

紀州材の需要拡大を図るため、乾燥紀州材を使用する住宅建築に係る経費や、県民が利用する公共施設等の整備に対して助成した。

紀州材の販売促進を図るため、木材の大消費地である首都圏等における展示会出展や産地見学会開催等への助成、商談会の開催などを行った。

東京2020オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザへ、紀州材による木造空間を提供することを通じて、「紀州材ブランド」のPRを図るため、提供用木材の調達・製材を行った。

**III 林業構造改善対策費**

1	低コスト作業システム整備事業	54,962	31,796
			〔翌年度繰越額〕 22,800

間伐等森林整備及び素材生産の増大を推進するため、生産性の向上や労働環境の改善を図る事業体に対し、高性能林業機械の整備を支援した。

**IV 山村振興対策費**

1	住みよい山村集落総合対策事業	38,799	34,570
---	----------------	--------	--------

山村資源の活用及び集落基盤の整備を総合的に支援し、安全・安心な活力ある山村集落づくりを行った。

事業名	事業費	補助金	事業内容
「山の恵み」活用	29,318	8,646	生産・加工・販売施設等整備支援 24件
山村のくらし支援整備	46,402	12,753	交流拠点施設整備 2箇所 生活関連道路整備 2箇所
山の基盤機能回復	36,888	13,111	作業道路路面補修等 15路線

**V 林道費**

1	補助林道事業	545,153	461,916
---	--------	---------	---------

林業生産基盤を整備し、多面的な機能を有する森林の適正な整備と保全、山村振興に資

〔翌年度繰越額〕  
82,886

2 森林路網整備促進事業 72,500 0  
〔翌年度繰越額〕  
72,500

(前年度繰越分)

1 補助林道事業 64,325 64,325

2 森林路網整備促進事業 82,800 82,800

## 森 林 整 備 課

### I 林 業 総 務 費

1 保安林整備管理事業 4,587 4,328

2 「企業の森」推進事業 3,126 2,294

するため、市町村が実施する林道の開設・改良・舗装・点検診断を支援した。

区 分		路線数	事業費	補助金
補 助	開 設	7 路線	298,302	180,535
	改 良	9 路線	316,810	174,244
	舗 装	5 路線	132,532	67,892
	点検診断	43 路線	41,552	22,851

間伐等森林整備の促進及び木材生産量の増大を図るため、間伐地と林道等を結ぶ路網の整備に対する補助の手続きを進めた。

林業生産基盤を整備し、多面的な機能を有する森林の適正な整備と保全、山村振興に資するため、市町村が実施する林道の開設・改良・舗装を支援した。

区 分		路線数	事業費	補助金
補 助	開 設	3 路線	48,300	28,980
	改 良	2 路線	24,300	12,685
	舗 装	3 路線	40,594	21,077

間伐等森林整備の促進及び木材生産量の増大を図るため、間伐地と林道等を結ぶ路網の整備を支援した。

国土の保全（災害の防備）、水資源のかん養、生活環境の保全・形成等の公益目的を達成するために、特にこれらの機能を発揮させる必要のある森林を保安林に指定し、その森林の保全と適切な森林施業の確保を行った。また、公益上の理由（道路用地への転用等）により保安林の指定の解除を行った。

- ・指定 15箇所 484 h a
- ・変更 95箇所 7,777 h a
- ・解除 14箇所 6 h a

環境貢献に関心のある民間企業等の資金や人材の導入により産官連携した森林整備・環

境貢献等を進めるため、個別企業等に対し本事業への参画を要請した。

また、「企業の森」普及のため、企業訪問やダイレクトメール、環境展・環境展により、事業PRを実施した。

- ・新規箇所 10箇所 (新規参画企業等 7企業)

森林を県民の財産として守り育て次の世代に引き継ぐため、間伐等の森林整備、森林の公有林化、子供達への森林学習及び県民が広く参加するための公募事業等を行った。

3 紀の国森づくり基金活用事業 309,810 252,607

II 森林病虫害防除費

1 森林病虫害等防除事業 39,580 37,878

森林病虫害等防除法に基づき、特別防除・地上散布・樹幹注入による予防措置、伐倒駆除・特別伐倒駆除による駆除措置を実施した。

平成30年度末被害材積は、521m<sup>3</sup> (対前年度比131%)となった。

	特別防除 (h a)	地上散布 (h a)	伐倒駆除 (m <sup>3</sup> )	特別伐倒駆除 (m <sup>3</sup> )	樹幹注入 (薬剤本数)
県営事業	—	29.0	—	—	—
損失補償	116.0	110.7	50.0	131.7	—
奨励事業	—	24.0	—	—	797
県単事業	—	78.0	—	—	809
計	116.0	241.7	50.0	131.7	1,606

III 造林費

1 優良種苗育成事業 5,097 3,944

抵抗性まつ等の優良な種苗の育成とすぎ・ひのき種子の供給を行った。

- ・抵抗性まつ種子採取量 390 g
- ・抵抗性まつ苗出荷本数 599本
- ・すぎ種子 39.47 k g
- ・ひのき種子 34.57 k g

2 植物公園緑花センター等管理事業 83,189 82,707

緑と花を楽しめる野外レクリエーション施設である植物公園緑花センター及び根来山げんきの森の管理運営を特定非営利活動法人根来山げんきの森倶楽部に指定管理委託した。

- ・植物公園緑花センター入園者：185,748人

3 森林環境保全整備事業 899,522 649,123

木材利用の推進と併せて、森林の持つ多様な機能が発揮できる森林整備を総合的に実施した。

- ・森林整備 2,278 h a (うち間伐1,627 h a)

4 森林資源循環利用促進事業 194,195 119,452

森林資源の循環利用を促進するため、主伐・再造林の一貫作業や搬出間伐等に対する支

〔翌年度繰越額〕  
246,838

業

〔翌年度繰越額〕  
74,659

援を行った。

(前年度繰越分)

1 森林環境保全整備事業 125,633 125,628

木材利用の推進と併せて、森林の持つ多様な機能が発揮できる森林整備を総合的に実施した。

・森林整備 281ha (うち間伐234ha)

**IV 治 山 費**

1 一般治山事業 1,831,497 1,103,445  
〔翌年度繰越額〕  
727,265

山地治山総合対策をはじめ水源地域等保安林整備・農山漁村地域整備交付金事業により、53箇所の荒廃地及び山地災害危険箇所の整備を実施した。また、山地に起因する地すべり被害防止のため抑制工事を行った。

事業名	箇所数	うち補正分	事業費	うち補正分
山地治山総合対策	22	4	666,052	915
水源地域等保安林整備	19	0	171,641	0
農山漁村地域整備交付金(治山費)	12	1	265,752	47
計	53	5	1,103,445	962

2 災害関連緊急治山事業 174,195 4,443  
〔翌年度繰越額〕  
169,752

台風20号により被災した山地について、安全確保のために緊急に必要な復旧整備を実施した。

実施箇所(市町村)	箇所数	事業費
かつらぎ町・有田川町	2	4,443

3 県土防災対策治山事業 289,614 198,328  
〔翌年度繰越額〕  
91,286

人家・公共施設に接する裏山等の崩壊に伴う復旧工事及び防災工事や治山施設に係る小規模な災害に伴う維持修繕に対し、県営及び市町村補助として実施した。

施行主体	箇所数	事業費
県	29	177,153
市町村	7	21,175
計	36	198,328

4 民有林直轄治山事業負担金事業 231,623 179,686

台風12号災害箇所のうち、事業規模が著しく大きく、高度な技術を要する箇所において国が実施した事業に係る負担金を支出した。

実施箇所(市町村)	箇所数	負担金
田辺市	5	179,686

(前年度繰越分)

1 一般治山事業 524,650 524,650

山地治山及び交付金により12箇所(箇)の荒廃地の整備を実施した。

事業名	箇所数	うち補正分	事業費	うち補正分
山地治山総合対策	5	2	354,922	311,536
水源地域等保安林整備	2	1	87,066	60,265
農山漁村地域整備交付金(治山)	5	-	82,662	-
計	12	3	524,650	371,801

**V 県有林費**

1 県有林経営管理事業 6,750 6,420

県有林の保育管理を行い、基本財産の造成を図った。

・県有林管理面積 4,465 h a

(前年度繰越分)

1 県有林経営管理事業 14,112 13,915

県有林の保育管理を行い、基本財産の造成を図った。

・県有林管理面積 4,465 h a

**水産振興課**

**I 水産業総務費**

1 漁業金融制度資金利子補給等助成事業 10,049 9,340

漁業の近代化及び経営の安定を図るため、資金の借入に対する利子補給及び信用保証料補助を実施した。

・融資額 345,380

・融資件数 35件

2 南紀白浜空港を活用した水産物販売促進事業 2,745 2,024

県産水産物の知名度向上と販路開拓を図るため、南紀白浜空港を活用した首都圏での販売促進を行った。

**II 水産業振興費**

1 栽培漁業推進事業 2,659 2,573

栽培漁業を推進するため、稚魚・稚貝の放流効果に関する調査及び中間育成の指導等を行った。

2 栽培漁業センター運営事業 70,469 63,596

栽培漁業を支援するため、栽培漁業センターを運営し、漁業者等に放流用種苗を供給した。

3 ブルーツーリズム推進事業 3,597 2,785

漁村が持つ豊かな観光資源を活用し、漁家所得の向上を図るため、市町等が実施する体

業		
4 漁業複合経営グループ創出事業	12,039	11,987

験交流施設等の整備に対する補助を実施した。  
漁家所得の向上を図るため、漁業者グループが複合経営を開始するにあたり、漁業用設備の取得経費に対する補助を実施した。

### Ⅲ 漁業構造改善費

1 水産基盤整備事業	278,381	118,367
		〔翌年度繰越額〕
		160,000

沿岸漁場の整備拡充を図るため、公共事業による魚礁設置事業等を推進した。

事業種類	実施場所	事業量
浮魚礁製作（設置）	太地町沖合	1基
底びき網漁場掃海	和歌山市沖合	9.9 k m <sup>2</sup>
	有田市沖合	11.2 k m <sup>2</sup>

（前年度繰越分）

1 水産基盤整備事業	248,200	247,180
------------	---------	---------

沖合漁場の整備拡充を図るため、公共事業による表層型浮魚礁設置事業を推進した。

事業種類	実施場所	事業量
表層型浮魚礁	白浜町沖合	3基

## 資 源 管 理 課

### Ⅰ 水産業総務費

1 漁船調整事業	2,039	1,441
----------	-------	-------

漁船登録事務の維持・適正化を図るため、漁船の建造等調整及び20トン未満漁船の測度を実施した。

〔和歌山県内登録漁船隻数：4,401隻〕

新規登録隻数	272隻
変更登録隻数	164隻
建改造等許可件数	38件
測度実施隻数	6隻

### Ⅱ 水産業振興費

1 内水面漁業振興対策事業	8,556	7,801
---------------	-------	-------

あゆ、あまご種苗の放流等の取組を支援した。

魚種	放流量	放流河川数
あゆ	48 t	13
あまご	50万尾	10

2 漁場環境保全等モニタリング事業	2,829	1,066
3 資源管理・回復推進事業	2,257	2,119

赤潮、貝毒に対処するため、漁場の環境及び貝毒量の監視を行った。

TAC（漁獲可能量）制度の対象となる、くろまぐろ、まあじ、さば類、まいわし、さんま、するめいかについて、漁獲割当量の県内再配分及び管理を行った。また、漁業収入安定対策事業の基礎となる資源管理計画の策定指導及び管理を行った。

### Ⅲ 漁業取締費

1 漁業取締事業	49,215	44,949
----------	--------	--------

本県地先海面における漁業秩序の維持確立を図るため、漁業違反船舶に対する取り締まりを実施した。また、遊漁船業者へのライフジャケット着用等安全指導を実施した。

違反検挙件数	0件
法令指導件数	70件
安全指導件数	14件